



学校だより

令和6年11月26日 12月号 岩国市立岩国小学校



アウトプットすることで確かな力を

11月15日の参観日には、多数の保護者の皆様に御来校いただき、ありがとうございました。

以前、岩国中学校区の各学校においては、学校・地域連携カリキュラムをもとに、「きんたいきょう学」という地域学習を進めていることをお伝えしました。今回の参観日では、いくつかの学年で、その一端を児童の発表という形で披露することができました。特に、6年生の子どもガイドは、小学校での「きんたいきょう学」の集大成です。当日は、残念ながら雨予報で、現地に出向いてガイドをすることはできませんでしたが、しっかりと学習してきたことが分かる堂々とした発表でした。

最近、「アウトプット」という言葉をよく耳にします。アウトプットとは、一般的に学習や経験したことを発言や行動に表したり、制作物などの形に反映させたりすることを指し、アウトプットすることにより、理解を深める、記憶が定着する、知識を活用できる、コミュニケーション能力が向上するなどの効果が期待できると言われています。今後も、学習のまとめはもちろん、一時間一時間の授業の中でも、児童が書いたり話したりするアウトプットの場を大切にしながら、確かな学力の定着に向けて取り組んでまいります。



できることを前向きな表現で言葉にして伝えることの大切さ

早いもので、2学期も残り1か月ばかりとなり、12月19日からは、お子様の学校での様子をお伝えする個人懇談会を実施させていただきますので、よろしくお願いいたします。

さて、以前、岩国市周東町出身で、バルセロナオリンピックバレーボール全日本女子帯同トレーナーとして活躍された日本ペップトーク普及協会代表理事の岩崎由純さんから、ペップトークについての話を聞く機会がありました。ペップトークとは、選手を励ますために監督などの指導者が試合前（本番前）に行う激励のショートスピーチのことです。

2023年のWBC（ワールド・ベースボール・クラシック）で大谷翔平選手が決勝戦直前にチームメートに掛けた言葉は記憶に新しいところですが、「憧れるのをやめましょう。」で始まり、憧れるのをやめる理由や自分たちがすべきこと、激励を短く伝えた大谷選手の言葉は、まさにペップトークだと岩崎氏は言っておられました。

我々大人は、できていないことばかりが目につき、子どもたちに叱責の言葉をかけてしまいがちですが、できることを前向きな表現で言葉にして伝えることが、やる気や力を発揮することにつながります。個人懇談会後には、頑張るとよいこととともに、自信や次なる意欲につながる声掛けもよろしくお願いいたします。

冬季休業中の学校閉庁日について

岩国市では、冬季休業中の学校閉庁期間を延長し、教職員の心身の健康増進や休暇取得促進を通して、学校運営の改善や教職員の働き方改革を推進することとしており、今年度は、12月26日（木）から1月5日（日）を学校閉庁日とします。

学校閉庁日における緊急時には、岩国市教育委員会を通して各学校長に連絡されるようになっていきますので、緊急の際は、岩国市教育委員会学校教育課または岩国市役所に御連絡ください。

<緊急連絡先> 岩国市教育委員会学校教育課 TEL 0827-29-5203 (12/26・27)
岩国市役所 TEL (代)0827-29-5000 (12/28~1/5)